

東久留米市社会福祉協議会施設管理者研修(応急手当実技講習)実施



主催 東久留米市社会福祉協議会

日時 11月9日(火)午前10時～12時

会場 中央地区センター1階和室

内容 応急手当全般(主はAEDを使った心肺蘇生法)

受講者 12名(市内の各地区センター施設管理者)

指導者 川島、岸川、須藤、田村

使用器具 成人人形2体、AEDトレーナー2個、三角巾30本

キューマスク(心肺蘇生法を行うときの感染予防製品)を受講者全員に無料進呈する

市内の全地区センターにはAEDが設置されています。AEDはいざという時に大変役に立つ救命器具です。講習を始めるに当たり、当施設に設置されているAEDのところ行き、AEDが設置されている壁からの取り外し方を見て頂いてから講習を始めました。毎年応急手当の訓練を続けていますが1年に1度の訓練ですから忘れているところもあり繰り返し訓練をすることは大切なことです。ですから、応急手当の訓練を毎年行っている施設管理者のいる施設は利用者にとって安心安全なことです。

左記写真は心肺蘇生法の流れを説明しているところ



呼吸の確認をしているところ



AEDの電極パッドを貼っているところ 胸骨の圧迫をしているところ



人工呼吸をしているところ



手の間接止血法



手の間接止血法



異物の除去法の背部叩打法



回復体位をとっているところ



1人での搬送法



三角巾のたたみ方(包帯法)



正しい結び方(包帯法)



膝に力が入らない膝が笑う状態の時の補強の仕方(包帯法)



足首の捻挫の補強の仕方(包帯法)